

工学部社会デザイン工学科

学位（教育）プログラム名：社会デザイン工学

【知識・理解】

- A-1 建設工学の構造系、水理系、地盤系、計画系、材料・施工系、環境系のうち三分野以上に関する専門的な知識を持つ。
- A-2 応用数学、物理または化学、情報技術に関する知識を持つ。
- A-3 人文・社会科学関連科目に関する知識を持つ。

【技能】

- B-1 応用数学、物理または化学、情報技術を修得し、それらを建設工学の学習ならびに問題解決へ応用することができる。
- B-2 実現可能な解をデザインし実行するために必要不可欠な、市民を含む多様な関係者との間の円滑なコミュニケーションを行うことができる。また、国際的コミュニケーションの基礎能力を有する。
- B-3 建設工学の専門的な知識を、建設分野の基本的問題の解決に応用することができる。

【態度・志向性】

- C-1 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を十分に理解し、技術者としての責任感と倫理観を持つ。
- C-2 人文・社会科学関連科目、建設工学を支える基礎科目と専門科目の知識を活用して、社会の要求に対する実現可能な解を見出すことのできるデザイン能力を持つ。
- C-3 社会の変化、要求に柔軟に対応する自立した技術者として常に成長できるよう、自主的かつ継続的に学習を続ける習慣を持つ。
- C-4 環境保全、経済合理性、自然との調和が課題となる九州の地域特性などの種々の制約条件の下で、自立した一人の技術者、チーム力を有する技術者、さらには建設プロジェクトのリーダーとして、仕事をやり遂げる姿勢を持つ。
- C-5 社会・経済の環境変化に注意を払い、自らの仕事を客観的に評価し、必要に応じて柔軟に軌道修正できる PDCA サイクルを実践する姿勢を持つ。
- C-6 地球規模で幅広く考え、自然との調和が課題となる九州という地域に根ざしてグローバルに物事を考える姿勢を持つ。